

# ひょうひょう

特集  
世代間交流の新しい形  
クラスメイトは孫世代



SUKI  
2(2)

インタビュー  
セルジオ越後



【特集】世代間交流の新しい形

# クラスメイトは孫世代

生涯学習、地域貢献の一環として、小中学校を開放し、シニアと孫世代が一緒に学ぶ機会を設ける取り組みが各地で始まりました。そのことはシニアにも学生にもよい効果をもたらしています。新しい世代間交流の形を紹介します。



扶桑中学校3年1組の皆さんと。数学の授業の後で。中央右が俄国臣さん



教室中央で授業を受けているのが苅谷貞子さん。「子と一緒にセーラー服も着たいくらいです(笑)」



社会の授業中、「鎌倉は何県ですか?」という質問に、手を挙げて「神奈川県です」と答える小山きえさん



眼鏡を使って資料を一生懸命見ている小山さん



「授業も楽しいですが、子供と話すのが一番楽しみ」

## ひょうひょう

6

2007.6.VOL.106

C O N T E N T S

### 特集① 世代間交流の新しい形 クラスメイトは 孫世代

全国初の導入から6年  
小中学校の授業でシニアが学ぶ  
愛知県扶桑町、温かい交流続く

「もう一度勉強したい」  
シニアと子供が机並べ学習  
那珂川町「町民聴講生制度」

北海道教育大学附属函館中学校  
世代間交流図る「シニア学級」を開設

長寿社会開発センターからのお知らせ⑧  
平成18年度ホームヘルパー  
中央研修会 開催報告  
平成18年度ホームヘルパー  
実技指導者養成研修会を開催

北から南から⑩  
社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会  
和歌山県いきいき長寿社会センター  
高齢者の地域貢献活動を推進  
シニアリーダーを養成し  
豊かな長寿社会づくりを目指す

ヘルパー奮闘記第37回⑭  
登録ヘルパー700人  
信頼と実績の質の高いサービスを提供  
社会福祉法人大阪市ホームヘルプ協会  
ホームヘルパー樋口益枝さん

長寿社会を拓く⑯  
「口からはじめる  
介護予防・まちおこし推進」事業  
特定非営利活動法人むなかた介護サービス研究会

ひょうひょうインタビュー⑱  
セルジオ越後  
次世代に伝えたい  
サッカーを楽しむこと、  
人生を楽しむことの素晴らしさ

ねんりんピックPRESS⑳  
ねんりんピック茨城2007(にせんなん)  
PR活動快調!  
助さん格さんサポーター活躍!

イキイキシニアライフ㉑  
太極拳、百歳への挑戦  
町ぐるみで健康づくり



「人生のやり直しはきかない」はずだったのが、そうでもないようだ。まさか、また小学生になれるなんて。こんどは先生に一度くらい褒められてみたいし、ガキ大将にもなってみたい……ですネ。

表紙のイラスト作者  
下谷二助



「今日がはじめての授業です。転入生気分ですね」



谷口さんが染色技術者として講義をしているところ



「どこまで進んだんだっけ?」「ここだと思うわよ」



扶桑北中学校の朝礼で、武山純司校長先生が聴講生を全校生徒に紹介「一緒に勉強する仲間です」



「聴講生になって4年です。子供達が1年の間にどんどん成長しているのを感じます」



前列左から、野田さち子さん、小山きえさん、後列左から、大塚芳範さん、谷口一男さん、俄国臣さん



「数学は苦手。大人になって役に立つのかななんて思ってたけど、俄さんが楽しそうに授業を聞いているのを見て、私もやらなきゃと思うようになりました」と話す中学生

特集 世代間交流の新しい形

クラスメイトは



孫世代

# 全国初の導入から六年 小中学校の授業でシニアが学ぶ 愛知県扶桑町、温かい交流続く

愛知県扶桑町（人口約三万三三〇〇人）では、平成一四年に全国に先駆けて、地域住民が町内の小中学校の授業を受けることができる制度をスタートさせました。導入から六年、扶桑町では温かな世代間交流が続いています。

学校側、聴講生側に好影響  
宿題、テストにも熱心に取り組む

「鎌倉幕府があった鎌倉に行ったことがある人？」

中学二年生の社会の時間、先生が生徒たちに質問をしました。

「はいっ!」と、中学生と一緒に授業を受けている七三歳の小山きえさんが、元氣よく手を挙げます。

「鎌倉は何県ですか?」と先生「神奈川県です」と小山さん。

愛知県扶桑北中学校での授業の様子です。

愛知県扶桑町が全国に先駆けて、町内の小中学校（小学校四校、中学校二校）の授業を住民が受けることができる「町民聴講生制度」を作ったのは、平成一四年。どの科目でも受講可能、複数科目の受講も可能、



「何度か来ているうちに、皆さん自然と生徒の中でなじんでいますよ」と話す数学の先生



「一度英会話の授業を受けてみたかったんです」



休み時間も楽しみのひとつ



子供達と笛の練習をする野田さん



聴講生も生徒と同じようにテストを受ける



「男子生徒の中では私の靴が一番小さいかな」



子供達が野田さんに手づくりの花をプレゼント

遠足や朝礼も希望すれば参加することができるといふ、画期的な制度でした。授業料は無料。希望すれば、実費負担で給食も食べることが出来ます。

制度設立のきっかけを、制度の設立者、扶桑町教育委員会教育長の河村共久さんはこう語ります。

「ある朝、テレビをつけたら、大阪の小学校で一人のおばあちゃんが、子供たちに混じって一緒に勉強

しているニュースが流れたんです。その方は子供の頃、十分な教育を受けることができず、学校長の取り計らいで授業を受けているということでした。『こんな風に勉強したいと思

っているシニアの方は、扶桑町にもたくさんいるのではないかと。これを町の制度として行ったらいいのではないかと』と思ったんです。地域に開かれた学校作りをしたいと思って

制度ができてから今年で六年目を迎え、延べ三九名が修了しました。受講生の多くがシニア層で、制度は世代間交流の新しい形としても全国から注目を集めています。

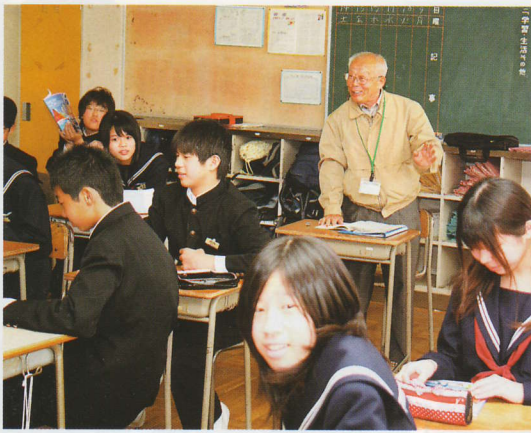
「シニアと触れ合うことで、子供達には、人を思いやったり敬ったりする心が育まれます。子供達と触れ合うことで、シニアの皆さんは元気になるようです。また、シニアの方達の細やかな視線が、先生達の指導

の助けになることもあります。例えば、こんなことがありました。一人のシニアが『今日はあの子、元気な

かったわよ。何か心配ごとでもあるんじゃないかしら』と、先生に伝えたんですね。先生が気になって、その生徒に訊ねてみると、やはり心に引っかかっていたことがあったそうです。子供達と机を並べている距離感と、長年の経験が合わさって、ちよつとした変化に気づかれたのでし



教科は何科目でも、聴講生が自由に選択できる



聴講生の中には給食や掃除まで体験する人もいる



「中学生の前向きな姿勢に触れ、若返る気がします」



「中学生の気持ちがよく理解できるようになりました」

ようね」と河村教育長。

こんな出来事もありました。

中学校三年の国語の授業で、『奥の細道』の発展学習として、俳句を作ることにしたときの事です。指導者になった俳句の得意な聴講生が子供達の作品に感動し、岐阜県大垣市で開かれる俳句コンクールに出品したらと提案しました。応募すると、多くの作品が全国審査まで残り、三人が受賞したのです。

「相乗効果ですね」と河村教育長。

今年で五年目を迎えた聴講生の一入、谷口一男さんはこう話します。

「学校に行くのはとても健康にいいみたいです。八二歳ともなると、とかく家に引きこもりがちになります。でも、子供達に会えると思うと、

学校に行く日が待ち遠しくなりました。この四年間風邪もひかず、健康

でいられたのは、聴講生制度のおかげかなとも思うんですよ」

大塚芳範さんはこれまでに国語、社会、数学、英語の四科目を修了し、昨年からは理科を受講しています。

「理科は学生時代一番苦手だったのですが、今では好きな科目になりました。勉強することが楽しいし、学校に行けることが嬉しいんですよ」と大塚さん。

音楽演奏や詩吟で老人ホームへの慰問活動をしている西村充良さんは、楽譜を基礎から勉強したくて、中学一年生の音楽の授業を受けています。

子供たちと一緒にテストを受ける

シニアもいます。

「子供の頃に点数が取れなかった科目で、平均して八〇点くらい取れると嬉しいですよ」と大塚さん。

「明日テストがあると思うと、夜、教科書を開いて復習しますね。同じ授業を受けているんですから、歳だからといって負けたくないんですよ（笑）。テストを受ける時の緊張感が大切だと思っています」

そう語る俄国臣さんは、中学校三年生の数学の授業を受けています。

シニアの聴講生は、学ぶ側に立つだけでなく、教える側に回ることもあります。野田さち子さんは、通っている柏森小学校の生徒に、子供の時の食生活について話をしました。模造紙に色鉛筆で、ちやぶ台や日の

丸弁当の絵を描いたものや、麦の穂を準備し、子供達に説明しました。

「今の子供達は麦やサツマイモのつるを食べていたことを知らないですよ。昔の質素な食生活を知って、驚いていました。こんな少ないおかずでお腹が空かないのかななんて質問もありました」と野田さん。

河村教育長はこう語ります。

「学校側は聴講生をお客様扱いしていません。ごく自然な雰囲気の中で、聴講生制度は展開されています。

シニアの方達には、『気負わず、恥ずかしながら、気楽に子供達の中に飛び込んでみてください』と伝えています。これからも地域ぐるみの世代間交流の場として、この制度を広めていきたいと思っています」